

深ふか小しょうっこ子

《十月じゅうがつ》

暗あん唱しょう千せんャしゃレれンんジ

朝あさ夕ゆうだいぶぶ肌はだ寒さむくなつてきました。秋あきのおと訪とずれです。  
十じゅう月がつのあんんししょうじょうは、宮みや沢ざわ章しょう二にさんさんの『山やまみみちちのうた』で  
す。長ながい詩しですが、合ごう格かくするように頑がん張ばつてください。

「山やまみみちちのうた」 宮みや沢ざわ章しょう二に

山やまみみちちで ひろろつつたよ

いいろろんんなな声こえを ひろろつつたよ

鳥とりのこえ声こえ

風かぜのこえ声こえ

水みずのこえ声こえ

ひろろつつたよけれど おおいいてきた

山やまををおおりりととき おおいいてきた

鳥とりのこえ声こえ

風かぜのこえ声こえ

水みずのこえ声こえ

山やまにに住すんでいる 山やまのこえ声こえだから

だだままつつて 山やまににおおいいてきた



山やまみみちちで ああそそんんだよ

いいろろんんなな秋あきと ああそそんんだよ

虫むしのあき秋あき

草くさのあき秋あき

石いしのあき秋あき

ああそそんんだよけれど わわかかれれたよ

山やまををおおりりととき わわかかれれたよ

虫むしのあき秋あき

草くさのあき秋あき

石いしのあき秋あき

山やまにに生いきている 山やまのあき秋あきだから

ふふももととのみちちで わわかかれれたよ

